2022 年 3 月 2 7 日 聖日礼拝

インターネットの礼拝映像配信は9時より。11時からは録画を視聴できます。

■聖歌392「神はひとり子を」(1, 2節)

- ①神はひとり子を たもうほどに 世びとを愛したもう 神は愛なり
- ※ああ神は愛なり けがれ果てし われさえ愛したもう 神は愛なり
- ②罪をば おかして 神にそむき 敵とう われさえ なお愛したもう
- ■イエスの血潮で (★→※→★の順序で歌う)
- ★イエスの血潮で 救われ 癒 (いや) され 天の御国へと 導かれる イエスの血潮で 赦され 満たされ 尊い その血潮で
- ※天の父と こひつじイェス ひざまずき歌う 聖なる御名 全地は歌う あがないの歌 栄光は主にあれ
- ■主の祈り 天にましますわれらの父よ。ねがわくは 衛名をあがめさせたまえ。御国をきたらせたまえ。御心の天になるごとく、地にもなさせたまえ。われらの目用の糧を今日もあたえたまえ。われらに罪をおかすものを われらが 赦すごとく、われらの罪をも赦したまえ。われらを こころみにあわせず 悪より救いいだしたまえ。国と力と栄えとは かぎりなく なんじのものなればなり。アーメン

■交読 詩篇103篇15~22節

- 15 人 その一生は草のよう。 人は咲く。野の花のように。
- 16 風がそこを過ぎると それはもはやない。 その場所さえも それを知らない。
- 17 しかし 主の恵みは とこしえからとこしえまで 主を恐れる者の上にあり 主の義は その子らの子たちに及ぶ。
- 18 主の契約を守る者 主の戒め (いましめ) に心を留めて行う者に。
- 19 主は 天にご自分の王座を堅く立て その王国は すべてを統(す)べ治める。
- 20 主をほめたたえよ 主の御使い (みつかい) たちよ。 みことばの声に聞き従い みことばを行う 力ある勇士たちよ。
- 21 主をほめたたえよ 主のすべての軍勢よ。 主のみこころを行い 主に仕える者たちよ。
- 22 主をほめたたえよ すべて造られたものたちよ。 主が治められるすべてのところで。 わがたましいよ 主をほめたたえよ。
- ■使徒信条 われは天地のつくりぬし、全能の父なる神を信ず。われはそのひとりご、われらの主、イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりてやどり、おとめマリヤよりうまれ、ポンテオ・ピラトのもとにくるしみをうけ、十字架につけられ、死にてほうむられ、よみにくだり、三日目に死人のうちよりよみがえり、天にのぼり、全能の父なる神の右に座したまえり。かしこよりきたりて 生けるものと死にたるものとを さばきたまわん。われは聖霊を信ず。聖なる公同の教会、聖徒のまじわり、罪のゆるし、からだのよみがえり、とこしえのいのちを信ず。アーメン

■聖書朗読 創世記22章1~19節

- 1 これらの出来事の後、神がアブラハムを試練にあわせられた。神が彼に「アブラハムよ」と呼びかけられると、彼は「はい、ここにおります」と答えた。
- 2 神は仰せられた。「あなたの子、あなたが愛しているひとり子イサクを 連れて、モリヤの地に行きなさい。そして、わたしがあなたに告げる一 つの山の上で、彼を全焼のささげ物として献げなさい。」
- 3 翌朝早く、アブラハムはろばに鞍をつけ、二人の若い者と一緒に息子 イサクを連れて行った。アブラハムは全焼のささげ物のための薪を割っ た。こうして彼は、神がお告げになった場所へ向かって行った。

- 4 三日目に、アブラハムが目を上げると、遠くの方にその場所が見えた。
- 5 それで、アブラハムは若い者たちに、「おまえたちは、ろばと一緒に、 ここに残っていなさい。私と息子はあそこに行き、礼拝をして、おまえ たちのところに戻って来る」と言った。
- 6 アブラハムは全焼のささげ物のための薪を取り、それを息子イサクに 背負わせ、火と刃物を手に取った。二人は一緒に進んで行った。
- 7 イサクは父アブラハムに話しかけて言った。「お父さん。」彼は「何だ。 わが子よ」と答えた。イサクは尋ねた。「火と薪はありますが、全焼の ささげ物にする羊は、どこにいるのですか。」
- 8 アブラハムは答えた。「わが子よ、神ご自身が、全焼のささげ物の羊を備えてくださるのだ。」こうして二人は一緒に進んで行った。
- 9 神がアブラハムにお告げになった場所に彼らが着いたとき、アブラハムは、そこに祭壇を築いて薪を並べた。そして息子イサクを縛り、彼を祭壇の上の薪の上に載せた。
- 10 アブラハムは手を伸ばして刃物を取り、息子を屠ろうとした。
- 11 そのとき、主の使いが天から彼に呼びかけられた。「アブラハム、アブラハム。」彼は答えた。「はい、ここにおります。」
- 12 御使いは言われた。「その子に手を下してはならない。その子に何もしてはならない。今わたしは、あなたが神を恐れていることがよく分かった。あなたは、自分の子、自分のひとり子さえ惜しむことがなかった。」
- 13 アブラハムが目を上げて見ると、見よ、一匹の雄羊が角を藪に引っかけていた。アブラハムは行って、その雄羊を取り、それを自分の息子の代わりに、全焼のささげ物として献げた。
- 14 アブラハムは、その場所の名をアドナイ・イルエと呼んだ。今日も、 「主の山には備えがある」と言われている。
- 15 主の使いは再び天からアブラハムを呼んで、
- 16 こう言われた。「わたしは自分にかけて誓う――主のことば――。あな たがこれを行い、自分の子、自分のひとり子を惜しまなかったので、
- 17 確かにわたしは、あなたを大いに祝福し、あなたの子孫を、空の星、 海辺の砂のように大いに増やす。あなたの子孫は敵の門を勝ち取る。
- 18 あなたの子孫によって、地のすべての国々は祝福を受けるようになる。 あなたが、わたしの声に聞き従ったからである。」
- 19 アブラハムは若い者たちのところに戻った。彼らは立って、一緒にベエル・シェバに行った。こうしてアブラハムはベエル・シェバに住んだ。

■聖歌396「十字架のかげに」(1, 4節)

- ①十字架のかげに 泉わきて いかなる罪も きよめつくす
- ※おらせたまえ この身を主よ 十字架のかげに とこしえまで
- ②十字架のかげを いかで離れん み国の門(かど)に入(い)る日までは

■頌栄 聖歌376「父 御子 御霊の|

父 御子 みたまの おおみかみに とこしえかわらず 御菜えあれ 御菜えあれ アーメン

【自宅での礼拝の手引き】

- ・招詞 招詞を読みます
- ・賛美 歌います
- ・主の祈り 主の祈りを祈ります
- ・交読 交読箇所を読みます
- ・礼拝祈祷 次の言葉を祈りましょう

「天の父なる神様。今、あなたの御前で礼拝をささげられることを感謝します。兄弟姉妹と場所は異なりますが、心を一つにして礼拝をささげます。主の臨在を、今、ここに現してください。私たちの救い主、イエス・キリストの御名によって祈ります。アーメン

- ・使徒信条 使徒信条を告白します
- ・聖書朗読 聖書朗読箇所を読みます
- ・説教 聖書朗読箇所を思い巡らしましょう
- **・賛美** 歌います
- ・献金 主から受けたものの中で私がささげられるものや分かち 合えるものは何か思い巡らしましょう。それをささげな がら歩めるように主の助けを祈りましょう。
- ・頌栄 頌栄をささげます
- ・祝祷 心の中で祝祷を読み、最後に「アーメン」と告白しましょう 「願わくば 主イエス・キリストの恵み 父なる神の愛 聖霊の親しい交わりが教会員一同の上に とこしえにありますように アーメン |